

靈藥「ヨヒンビン」ノ原料植物よひんべ樹

ノ學名ハ Dictyophora phalloidea Desv. 其異名トシテ Phallus indusiatus. 及 Hymenophallus indusiatus.
ガアル又 Dictyophora tabitensis. 並ニ D. speciosa. ト云ハルノモ本菌ノコトデア

○靈藥「ヨヒンビン」ノ原料植物よひんべ樹

藥學博士 刈 米 達 夫

よひんべ樹ノ幼木

大正八年二月六日ツヤワノボイデンソルグ
植物園デ刈米達夫氏ノ撮影シタルモノ



Pausinystalia Yohimba, PIERRE.
(=Corynanthe Yohimbe, K. SCHUM.)

よひんべ樹ハアフリカニ産スルアカネ科 (Rubiaceae) ノ喬木植物デ學名ヲ Pausinystalia Yohimba, (K. SCHUM.) PIERRE. ト呼ビ催淫藥「ヨヒンビン」Yohimbine ノ原料植物デア
●本植物ハ主トシテ西アフリカノカメルーン Cameroon ニセリア Negeria 佛領コンゴ Congo 等ノ諸地方ニ産シ同地方デハ土語之ヲ「ヨヒンベ」ト呼ビ土人ハ舊クヨリ催淫藥トシテ使用シテ居タノデアアルガ一八九六年獨人スビーゲル氏 SPIEGEL ガ初メテ之ヲ學術的ニ研究シ其有效成分ヲ結晶トシテ分離スルコトニ成功シタ同氏ハ此成分ヲ「ヨヒンビン」ト命名シ其製法ニ就テ獨逸

國特許ヲ得タ之ヲ初メテ醫用ニ供シタノハ一九〇〇年オーベルウォルト Oberworth トレウイー Loewy 兩氏ノ業績デアル一九〇二年シュートン氏 K. Schumann ハ「ヨヒンベン」ノ原植物ヲ植物學のニ研究シテ Corynanthe Yohimbe, K. Schumann. ト命名シタ其後バイル Belle 及ビヂュボニー Dupont 兩氏ハ Corynanthe 屬ヲ二分シ Corynanthe 及ビ Pousinystalia ノ兩屬トナシタノデビエール氏 Pierre ハ本植物ガ Pausinystalia 屬ニ入ルベキモノトナシ其學名ヲ Pousinystalia Yohimbe, (K. Schum.) Pierre. ト改メタ ●本植物ハ

高サ丈餘ニ達スル喬木デ葉ハ無柄大形輪生又ハ對生シ花ハ鐘狀デアアルガ下部ハ僅ニ管狀ヲナシテ居リ花冠裂片ノ附屬物ハ約二十三耗ノ長サヲ有スルヲ特徴トスル、藥用ニ供スル部分即チ其樹皮ハ外面灰褐又ハ暗褐色デ多クノ縱溝ヲ有シ之ト直角ニ約一乃至二耗ノ規則正シキ間隔ヲ隔テ、狭イ横裂ガアリ全體ニ於テ格子狀ヲ呈スルヲ以テ其特徴トスル ●樹皮及ビ葉ハ結晶性ノ「ヨヒンベン」 $(C_{22}H_{30}O_4N_2)$ 及ビ「ヨヒンベニン」 $(C_{23}H_{35}O_6N_3)$

他二種ノ「アルカロイド」ヲ含有シテ居リ總「アルカロイド」含量ハ〇・五乃至一・三%ニ達スル此内有効成分ハ「ヨヒンベン」バカリデ他ハ生理的ニ無力ノ成分デアル ●アフリカニ產スル同屬植物ハ Pousinystalia Trillei, P. macroceras, P. Talloiti, P. angolensis 等數種アルガ此内「ヨヒンベン」ヲ確實ニ含有シテ居ルノハ

P. Trillei バカリデ P. macroceras ノ樹皮ノ如キハ真正よひんべ皮ニ外觀極メテ能ク似テ居ルニ拘ハラズ全然「ヨヒンベン」ヲ含マズ他ノ「アルカロイド」ヲ多量ニ含有シテ居ル醫用ニ供スルノハ主トシテ「ヨヒンベン」ノ鹽酸鹽即チ「鹽酸ヨヒンベン」 $(C_{22}H_{30}O_4N_2 \cdot HCl)$ デ内用トシテハ一日三回〇・〇〇五乃至〇・〇一五瓦、皮下注射ニハ一回二%水溶液〇・五乃至一立方糎ヲ數日間繼續シテ用ウル其作用ハ主トシテ生殖部ノ血管ヲ擴大セシメ生殖機能ノ一部ヲ亢進セシメルニ在ル、其藥效ハ身體ノ條件ニヨリ用藥後數時間ニシテ顯ハレルコトモアリ又數日連用後始メテ奏功スルコトモアリ其效力モ可ナリ永續スル、其大量ハ劇シキ毒作用ヲ呈スル又本藥ヲ用キテハナラヌ病症モアルカヲ素人ガ濫ニ用ウルコトハ禁物デアル ●本植物ノ他ニ催淫藥ト稱シ著明ナ植物

珍ラシキ食用瓜ノはやとうり

ハ支那ノ淫羊藿(ほうちまのいかりちう)、南米ノ「ムイラ、プアマ」(Mura-puma)等デアル此「ムイラ、プアマ」ト云フノハ南米ノ土語デアルガ其原植物ハまづねのまご科 (Acanthaceae) ノ *Acantea virilis* トモ謂ヒ或ハビヤくだん科 (Santalaceae) ノ *Liriosma ovata* Miens. トモ謂ハレ確定サレテ居ラヌ

ヲ曾テ誰カガ夜頻々ト譯シテ居ッタ、ハハハ」

〔牧野云フ「ヨヒンビン」〕

○珍ラシキ食用瓜ノはやとうり

牧野 富太郎

はやとうり(隼人瓜)ト稱スル食用ノ瓜ガアル數年前始メテ我日本ニ入り來リ今ハ九州ノ南部デハ處々ニ作ラレテ居ル原トメキシコ、中央アメリカ、西印度諸島ノ所謂熱帶アメリカノ産デアルガ其瓜ガ食用トナルユエニ今日デハ熱帶並ニ亞熱帶ノ諸地方ニ擴マリ新舊兩世界ニ互リテ廣ク栽植セラレ種々ナ變リ品ガ出來從ツテ其風味モ少シヅ、異ツテ居ル

●此植物ハうり科ニ屬シ一屬一種ノ品デ其學名ヲ *Sechium edule* Sw. ト稱シ其異名ニハ *Sicyos edulis* Jacq. ト *Chayota edulis* Jacq. ト *Sechium americanum* Poir. ト *Cucumis acutangulus* Descoeur. (non L.) ト *Sicyos laciniatus* Descoeur. (non L.) トガアル又俗名トシテハ *Chayote*, *Chayota*, *Chaiota*, *Chayoti*, *Chaioti*, *Chouchoute*, *Chocho*, *Choco*, *Choko*, *Chaco*, *Chuchu*, *Xuzu*, *Mirliton*, *Christophine*, *Pipimella*, *ガアル* 多年生ノ蔓草デ莖ハ長ク延ビ能ク成長セルモノハ四丈位ノ長サニ達シ稜ノアル圓柱形デ剛毛ヲ生ジ一年毎ニ枯死スル、多クハ三岐(或ハ二岐或ハ五岐)シテ略ボ腋生セル強キ卷鬚ガアツテ其助ケニヨリ他物ニ攀緣シテ生長スル、葉ハ莖ニ互生シテ胡瓜葉ノ態ガアル三寸乃至七寸許ノ長サト廣サトヲ有シ膜質デ稍糙澁シ疎ニ毛ガアル深ク狭ク入り込ミタル心臟形ヲ呈シ或ハ三乃至五稜ガアリ或ハ三乃至五ニ淺裂シ其裂片ハ略ボ三角形ヲ呈シ全邊カ或ハ多少ノ細齒ガアル然シ葉ノ中央裂片ハ他ヨリハ大デ且ツ銳尖頭ヲナシテ居ル葉色ハ深緑デ掌狀